



662-0833 西宮市北昭和町 3-20 TEL&FAX 0798-65-4303 携帯 080-3138-4164

Eメール soshisha@f6.dion.ne.jp ホームページ <http://amenity2000.la.coocan.jp/>

お知らせ

- #上期セミナー 9月8日(土) 草志舎
- #畑儀文の合唱教室 9月10日(月) 10月15日(月) 11月12日(月) 草志舎
- #コウノトリの郷との交流 9月15日(土) 豊岡
- #秋季ナショナル・トラスト展 9月15日～17日、22日～24日 ヴォーリス六甲山荘
- #草木染教室 10月13日(土) ヴォーリス六甲山荘
- #建物の保存を考える in Tokyo 10月6日(土) 三溪園(横浜市)
- #ほりだし市 11月3日(土・祝) 草志舎

ご報告 ヴォーリス六甲山荘購入記念プレート設置

当協会がヴォーリス六甲山荘を購入したのは2008年、今年で10年になります。それを記念してプレートを敷地内に設置し、7月14日の購入10周年記念会の日に初お目見えをしました。

制作は会員で陶芸家の角倉起美さんです。協会のロゴをデザインした土台の上に銘文を焼き付けた陶板をのせたすてきな作品ができました。文字も手書きで、まわりの緑と調和するプレートです。次に山荘に来られるとき、ぜひご覧ください。門から玄関に至る通路沿いに佇んでいます。



銘文：「ヴォーリス六甲山荘は1934年に小寺敬一氏の夏別荘として建てられました。設計者 W.M.ヴォーリスの住む人の健康、住み心地を第一にする設計思想がよく現れたすぐれた山荘建築で、創建当時の姿がそのまま残っています。この文化財を後世に伝えるため、私たちは2008年に資金を広く一般から募集するナショナル・トラスト方式で購入し、保存・公開しています。人々に愛され続ける六甲山上の名建築です。」

ご報告 ヴォーリス六甲山荘購入10周年記念会 7月14日(土)

プログラム：六甲山荘の誕生のプロセスと今後の構想について<清水理事長>、来賓あいさつ、ミニコンサート(ハーブ演奏・春木浩子)、懇親会

2008年にこの山荘を購入してから10年になるのを記念して、購入時からお世話になった方々に感謝の気持ちを表し、今後の展望も語り合うという会です。記念プレート(角倉起美さん制作)のお披露目の日でもあります。理事長の六甲山荘の誕生と今後についての話しのあと、来賓の方々からはこの山荘を守っている私たちへの激励と期待のこもったあたたかい言葉をいただきました。春木さんのハーブ演奏を楽しみ、懇親会となり、来賓も会員もいりまじってのなごやかな会は5時すぎまでつづきました。



理事長の話し



ハーブ演奏



懇親会

出席招待者：中嶋節子(京都大学教授)、田中康弘(兵庫県教育委員会文化財課主査)、正垣修志(兵庫県神戸県民センター副センター長)、辻恵(兵庫県神戸県民センター県民課長)、寺内聡(環境省神戸事務所自然保護官)、宮西幸治(六甲山観光株式会社 社長)、池戸秀行(神戸ゴルフ倶楽部支配人)、本城博一(ヴォーリス建築文化全国ネットワーク 会長)、池田隆男(ヴォーリス建築文化全国ネットワーク 幹事)、南原淳(三井住友信託銀行神戸支店副支店長)、以上10名

当日は豪雨災害の影響で通行規制がかかり 今回初めて六甲ケーブルを利用することになりました。 六甲ケーブル下駅から山上駅までの10分間、土砂崩れが起きて山肌がむき出しの斜面を目の当たりにし 改めてこの度の災害の大きさに心が痛む思いでした。涼風を期待して降りた山上駅はジリジリと太陽が照り付け 下界と変わらぬ暑さに驚きました。 有り難い事に 山荘までは、スタッフの車で送って下さいました。

アイアンの門扉から少し歩いたその先のカーブに差し掛かった場所で 新しいモニュメントがお出迎えしてくれました。アメニティロゴのモチーフが三色の美しいグラデーションの陶器で表現されていて その上の陶板プレートには 購入10周年記念の銘文が 趣きのあるやさしい文字で刻まれていました。 制作されたのは 陶芸家の角倉起美さんです。

記念会でご紹介された角倉さんのご挨拶で「降り続いた大雨の中での設置作業はとても困難を極めた」とお聞きしました。そのような過酷な状況の中 山荘へのアプローチを黙々と掃き清められている清水理事長のお姿に励まされ 見守られているようなお気持ちになったと言うお話をされ 感動で私の目頭も熱くなりました。

記念会は先ず 清水彬久理事長による「ヴォーリズ六甲山荘誕生のプロセスと今後の構想について」お話がありました。その後 今日の日にお越しいただいたご来賓の方々のご紹介がされ お一人お一人から購入10周年を祝福して下さる心温まるお言葉をいただきました。続いて ハープ奏者 春木浩子さんのミニコンサートが始まりました。演奏して頂いたのは一曲目の「アメイジング グレイス」に続いて7曲。ハープの音色はとても可憐で山荘のリビングに響きました。開き放たれた窓から心地よい風が吹き渡り 美しいハープの音色に虫の鳴き声も飛び入りで参加。それはそれは素晴らしいハーモニーに酔いしれた贅沢な時間でした。その後 ヴォーリズ建築文化全国ネットワークの会長でいらっしゃる 御年92歳の本城博一様の乾杯の音頭で楽しい懇親会が始まりました。

簡素にして品格のある六甲山荘は 今年84年目。そしてヴォーリズ山荘購入10周年の良き日に山荘で過ごせたことは 私にとってこの夏一番の大切な思い出になりました。



通路沿いの記念プレート

ご報告 第3回シンポジウム at ヴォーリズ六甲山荘 8月20日(月)～22日(水)

大変充実した3日間でした。総合司会は**顚原澄子**さん(千葉大学大学院准教授)で、多彩な講師陣の話しをツボをおさえてまとめてくださいました。

講師の陣容はつぎのとおりです。

室谷悠子さん(日本熊森協会会長、奥山保全トラスト理事)は学生時代から取り組んできた森を本来の自然な姿にもどそうという活動について 熱く語られました。

武田資行さん(弁護士、ナショナル・トラスト研究奨励賞受賞者)は信託制度の仕組みを利用して文化財を守る可能性について刺激的な提案をされました。

高橋弘一さん(長崎県新五島町文化財課)は潜伏キリシタンの集落が世界遺産に登録されるまでの曲折と今後の課題についてのホットなお話しでした。

澤田悠紀さん(学習院大学非常勤講師、ナショナル・トラスト研究奨励賞受賞者)はこの夏の訪欧で実踏したロンドンの文化財建築の保存例をあげてさまざまな保存形態の可能性を語られました。

参加者の発表では**中村文香**さん(千葉大学大学院)が修士論文で目下研究中の、祖父母の家をどう守っていくかという現代の日本で多くの人がかかえている問題について発表しました。

金子翼さんと**月嶋教佑**さん(いずれも千葉大学学生)がこのシンポジウムの一連のプログラムに参加しての体験、気付きについて発表しました。



ワークでは第2プロパティの整備を行いました。草を刈り、笹を刈り、枝を切り、遊歩道が歩きやすく整備されました。

スタッフの活躍も見事でした。厨房スタッフは献立づくり、買い出しから片付けまで一手にひきうけて、当日のサポートスタッフとともに期間中おやつもふくめて195食の食事を用意しました。連日朝晩の送迎で車を走らせた送迎担当、ピザのために石窯を焚き続けた石窯担当。開催にそなえて敷地内の整備をしてくださった作業スタッフ。皆さんの支えがあってこそ開催できたシンポジウムです。ありがとうございました！

参加者の感想文は11月号に掲載いたします。お楽しみに。



室谷悠子氏



武田資行氏



高橋弘一氏



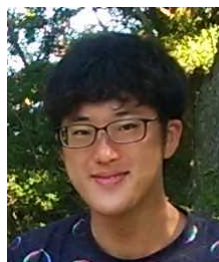
澤田悠紀氏



顥原澄子氏



中村文香氏



金子翼氏



月嶋教佑氏

第2プロパティの整備作業を一緒にしましょう！！

この6月に購入した第2プロパティ（ヴォーリズ六甲山荘隣地）は自然と人の営みの痕跡がまじわる土地です。2年後にはこのプロパティも一般公開することを目標に、整備をはじめました。

8月のシンポジウムのワークでは、参加者が笹草を刈り、邪魔な木の枝を切り、土をならし、遊歩道の整備にとりくみました。おかげで林のなかをめぐる気持ちのいい小道が姿を現しました。

今後の作業では遊歩道をさらに伸ばし、水の流れを変えて小寺池を復元するなど、六甲山の自然を味わえる自然庭園にしたい予定です。

作業には多くの人手と時間が必要です。多くの方のご参加お待ちしております。

作業日 毎週土曜日または日曜日

9月16日（日）22日（土）29日（土）

10月7日（日）14日（日）20日（土）27日（土）

11月4日（日）10日（土）

時間 午前10時～午後3時くらい



毎週でなくても参加できる方のご連絡ください。

第13回コウノトリの郷との交流

<トラストユースセンター・プログラム>

コウノトリを育むための田んぼでとれるお米がおいしくて安全だとは、人間も自然のなかで生かされている証です。コウノトリの郷豊岡での農業体験、今年は稲刈りをします。黄金色に実った稲穂をカマでザクザクと刈り取る作業は「瑞穂の国」を実感できる体験です。ぜひご参加ください。

月日 2018年9月15日（土）

集合 午前10時半 豊岡市立地域農業管理施設（豊岡市祥雲寺）

解散 現地 午後3時ごろ

参加費 会員1,500円 一般2,000円（昼食代ふくむ・大学生以下は半額）＋ 車代

内容 午前・稲刈り 午後・コウノトリ観察（コウノトリ文化館にて）

昼食 地元の無農薬の田んぼでとれたお米のおにぎりや手作りの惣菜をいただきます。



*参加者の車に乗り合わせて移動したいと思います。お車で参加で、同乗可能な方のご連絡ください。

現在8人乗りの車1台は用意できます。

詳しくは同封の案内チラシまたはホームページをごらんください。

親子でアート～六甲山荘で草木染を楽しもう・・10月14日(土)

<トラストユースセンター・プログラム>

身近な材料を使って染色をしてみませんか。できあがりがかきれいで楽しく、びっくりするかもしれません。また会員が育てたタデアイを使った簡単な藍染にも挑戦します。どんな作品ができるか、楽しみです。

会 場 ヴォーリズ六甲山荘

参加費 子ども(小学生以下) 1,500円

保護者(会員) 2,000円 保護者(一般) 2,500円
(いずれも材料費、昼食の石窯ピザ込み)

持ち物 汚れてもいいエプロン、厚手のゴム手袋

定 員 子供と保護者のペア5組 大人だけのご参加もお受けします。

詳しくは同封の案内チラシまたはホームページをごらんください。



建物の保存を考える in Tokyo

今年の東京での見学会は横浜の三溪園を訪問します。実業家原三溪が横浜市の広大な敷地に造った庭園で、京都や奈良から移築された建物が巧みに配置されています。重要文化財10棟・横浜市指定有形文化財3棟。三溪は当時の新進芸術家のサポートもしており、前田青邨、横山大観、下村観山らの名作もここでうまれました。

10月6日(土) 三溪園(横浜市) 集合 午後1時15分 三溪園正門前

参加費 会員1000円 一般1500円(入園料こみ)

定員 20名 申込締切 10月1日

詳しくは同封の案内チラシまたはホームページをごらんください。

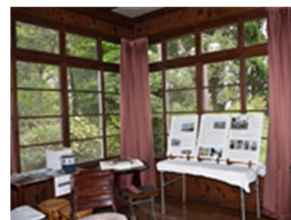


☆ナショナル・トラスト展☆

ヴォーリズ六甲山荘を舞台に、ナショナル・トラストとはどんなものかをパネルとスライドショーで紹介します。春の連休につづいての開催です。私たちが活動の指針としている運動の姿をわかりやすく解説しています。山荘の秋の風情を味わいがてら、ぜひおいでください。

秋季 9月15日(土)～17日(月・祝) 22日(土)～24日(月・休)

詳しくはホームページをごらんください



11月3日(土・祝)はほりだし市

毎年恒例のほりだし市です。会員の手作りの作品、ケーキ、惣菜類、寄贈品が並びます。芦屋クローバーの和のこもの、有機農家会員の柑橘類や野菜も届きます。今年は長崎県上五島の物産(うどんや海産物など)もあります。

いつものようにお昼ごはんも用意します。どうぞ皆さん、お知り合いを誘い合わせておいでください。

日時 11月3日(土・祝)

午前11時～午後3時

場所 草志舎(西宮北口)

詳しくは同封の案内チラシまたはホームページをごらんください。



ほりだし市出品とスタッフのお願い

左欄でご案内しましたように、11月3日のほりだし市のために皆さまからの手作り作品と寄贈品を募集しています。手作り品は特にパン、ケーキ、惣菜が人気です。皆さんが普段作っておられる家庭の味をぜひお寄せください。また前日の準備と当日に大勢のスタッフが必要です。みんなでにぎやかに一日を楽しみましょう。

ご出品の方、スタッフご参加の方はご連絡ください。お待ちしております。

ご報告 上期セミナー 第4回 7月22日(日) 自由学園明日館

今年の東京でのセミナーは学生会員の山本真沙子さんが東京工業大学大学院で博士号を取得された、その論文の一部を話していただきました。英国ナショナル・トラストの現在の姿についてのフレッシュな発表で、お茶の時間には活発な質疑応答が行われました。



<参加記> セミナーに参加して

松澤 寛

英国のナショナルトラストの現状に関してその活動状況、参加者、資産価値等について詳しく紹介があり、改めてその規模と着実な運営に敬意を表したいと思う。特に英国国民の7%近くの400万人強が英国ナショナルトラストの会員であり、ボランティア活動にも年間6万人強が参加しているとは驚く。実際に現地を訪れて体験してみないと実感が湧かないが、広く国民に認知、理解されている証左であろう。根底にはユースやトラストといった伝統的な経緯があり、受け入れられているものと思う。

ところで我が国のナショナルトラストについては以前にも(2010年4月)寄稿したことがあるが、その後も英国のような大きな発展はないように思われる。

世界文化遺産の指定活動は大きく報じられるが、我々の周囲には多くの貴重な自然や建物が存在し、それらを国民の遺産として同様に保護、保持していくことの必要性については異論はない筈であり、ナショナルトラストをその手法としてもっと広く普及を呼び掛けていきたいものである。

ただその推進に当たっては、プロパーの出し手や運営の担い手等に関して法制、税制、資金面など様々なサポートが求められる。

具体的な方策として思いつくまま列挙してみると

- ・組織の立ち上げサポート、会員の増強
- ・企業のCSR活動との連携
- ・大学教育におけるボランティア活動の評価
- ・ナショナルトラストに関する研究者の育成
- ・遺言信託や公益信託の活用
- ・包括的なナショナルトラスト法の制定
- ・(社)日本ナショナル・トラスト協会と(財)日本ナショナルトラストの一本化

など。このうち既に当協会が他に先駆けて取り組み、成果を上げているものもあるが、今後は機会あるごとに各方面への働きかけを通じ、より一層ナショナルトラストの普及に寄与できればと思う。

六甲山荘たより

7月は大雨と台風で合計3日間も休館となりました。六甲山の交通機関もほぼ全滅しました。14日の記念会が無事開催できたのはラッキーでした。8月にはシンポジウムが開かれました。大きなイベントが二つもあった7月8月ですが、スタッフの皆さんの活躍でのりきることができました。皆さん、お疲れさまでした。

夏だけのお楽しみ、山荘での宿泊もはじまっています。

募金のご報告～6月7月

6月、7月に次の方々から募金をいただきました。

ありがとうございました。(敬称略)

<六甲山荘屋根葺替え資金>

《6月7月合計 78,420円 2018年度累計 303,070円》

<一般資金>

《6月7月合計 70,500円 2018年度累計 218,100円》

*文化遺産継承基金

《6月7月合計 148,920円 2018年度累計 521,170円》

＊山形政昭著

「ウィリアム・メレル・ヴォーリスの建築」

この本についてはアムニティ便り7月号でもご紹介しましたが、理事長が山形先生にお送りした礼状の一部を次に掲載します。本の内容についてご理解いただけたと思います。

ヴォーリス建築の関係者、同ファンにとって嬉しい贈り物です。特に、ヴォーリス建築に関する書物としては決定版といえる価値のある内容になっていると拝読いたしました。

編集には、繊細な心配りがみられ、ヴォーリス建築を全貌できる内容であると同時に、夫々の解説になるほどという説得力があり長年の研究の賜物と納得いたしました。印象に残る点を列挙しますと次のようなところです。

- 1 紹介建築が、随分拡充されていますし、おかげさまで、ヴォーリス六甲山荘を仲間に加えていただき正式に認知されたとの思いです。
- 2 写真等資料が豊富で、特に、歴史的事実に適及できる貴重な原データが多く掲載されていることが理解を深めるのに有効でした。
- 3 建築の解説だけでなく、それに至る歴史的な経緯が言及されており調査方法の緻密さが学術的にも優れていると感じました。
- 4 紹介されています建築のうち、すでにないものが少なからずあり記録性にも配慮されており、業績の全貌を把握するうえでも貴重と言えます。

読後、「住み心地のよい、建築主の意を汲む奉仕者となるべきである」というヴォーリスの精神を再確認でき、これからの励みになるという清々しい気持ちになりました。

ご不用のパソコンはありませんか

協会では毎週水曜日に西宮北口の事務所で事務作業を行っています。現在のスタッフは市川武さん、中村忠夫さん、西田哲男さん、安永順一さん、清水順子で、8月から青木真美さんが加わって総勢6人で、会員管理、会計処理、各種案内づくりなどを行っています。

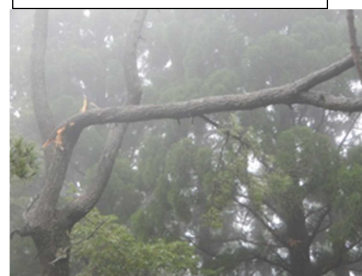
そこをお願いします。作業のためのパソコンが必要です。

お手持ちでご不用のものがありませんか。バージョンは少々古くても結構です。

Word、Excel、できればPower Pointが搭載されていればありがたいです。お心当たりの方はご連絡ください。



8月23日の台風で折れた枝



第3回シンポジウム風景



懇親会



ワークの奮闘



庭での朝食